

北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射に関する消防庁の対応について (第3報)

平成24年12月12日(水) 15時00分
消防庁情報連絡室

1 「人工衛星」と称するミサイル発射の概要

Em-Netによる情報(平成24年12月12日10時26分)によると、平成24年12月12日(水)北朝鮮西岸から南に向かって1発の人工衛星と称するミサイルが9時49分頃、発射されたことを確認した。ミサイルは分離し、1つが朝鮮半島西方の洋上(予告落下区域内)へ、もう1つが朝鮮半島南西の洋上(予告落下区域内)へ、もう1つが、フィリピン東方の洋上(予告落下区域内)へ落下したものと推定される。破壊措置の実施は、なし。

- | | | |
|---|------|---|
| ① | 発射時刻 | 9時49分頃 |
| ② | 発射場所 | 北朝鮮西岸 |
| ③ | 発射方向 | 南 |
| ④ | 発射数 | 1発 |
| ⑤ | 通過時刻 | 10時01分頃 沖縄地方の上空を通過したと推定 |
| ⑥ | 破壊措置 | なし |
| ⑦ | 落下物1 | 10時05分頃 フィリピンの東約300kmの太平洋
(落下区域内)と推定 |
| ⑧ | 落下物2 | 9時58分頃 朝鮮半島の西約200kmの黄海
(落下区域内)と推定 |
| ⑨ | 落下物3 | 9時59分頃 朝鮮半島の南西約300kmの東シナ海
(落下区域内)と推定 |

2 消防庁の対応等

- 12月 1日 国民保護運用室長を長とする消防庁情報連絡室を設置
- 12月 5日 沖縄県及び東京都において、地方公共団体に対する説明会が開催され、
消防庁からも説明
Jアラート試験を実施
- 12月 9日 国民保護・防災部長を長とする消防庁情報連絡室へ改組
- 12月12日
- 9時55分 発射情報をJアラートで送信(沖縄県)
 - 9時56分 発射情報(Em-Net情報)を一斉FAXで各都道府県に送付
 - 10時02分 通過情報をJアラートで送信(沖縄県)
 - 10時05分 総理指示を一斉FAXで各都道府県に送付
 - 10時05分現在 沖縄県(市町村・消防本部)に落下物情報及び被害情報を確認
 - 10時16分 通過情報(Em-Net情報)を一斉FAXで各都道府県に送付
 - 10時55分現在 沖縄県(市町村・消防本部)に落下物情報及び被害情報を確認

1 1 時 4 5 分 総理指示を一斉 F A X で各都道府県に送付

1 1 時 5 8 分 内閣官房長官声明を一斉 F A X で各都道府県に送付

1 4 時 4 0 分現在 沖縄県（市町村・消防本部）に落下物情報及び被害情報を確認

3 落下物情報等の有無確認

沖縄県の 1 8 消防本部及び消防本部のない 1 2 市町村からの報告によると、1 4 時 4 0 分現在、落下物情報及び被害情報ともになし。

4 住民に対する情報伝達の状況確認

沖縄県の各市町村における住民への情報伝達について、現時点で確認できている範囲では、一部市町村（伊是名村、今帰仁村、西原町）において、自らの判断等により、ミサイル発射情報等について、防災行政無線の放送等を行わなかったとのことである。

糸満市においては、発射情報については、Jアラートの自動起動の設定誤りにより防災行政無線の放送はなされなかったものの、手動によりコミュニティ放送は実施されたとのこと。その後直ちに設定を適正化し、通過情報については自動起動により防災行政無線の放送、コミュニティ放送がともに行われたと聞いている。

先島諸島の全市町村（石垣市、宮古島市、多良間村、竹富町及び与那国町）を含め、それ以外の団体においては、予定通り住民への情報伝達が行われたと聞いている。

また、Jアラートの自動起動を予定していた 2 7 市町村のうち、糸満市を除く 2 6 市町村では、Jアラートの自動起動により、発射情報、上空通過情報ともに防災行政無線等から放送がされたと聞いている。